

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670104506
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 小野の里
訪問調査日	平成 19 年 7 月 27 日
評価確定日	平成 19 年 10 月 16 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

#### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 8月 5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670104506
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 小野の里
所在地	鹿児島市小野二丁目10番18号 (電話) 099-220-7070

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会		
所在地			
訪問調査日	平成19年7月27日	評価確定日	平成19年10月16日

【情報提供票より】( 19年 6月 20日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 7月 8日				
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人		
職員数	16 人	常勤	8人, 非常勤	8人, 常勤換算	13.6人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨陸屋根 造り		
	2階建て	1階	2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	実費 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	300 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要( 6月 20日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	6名	要介護2	6名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 80歳	最低	67歳	最高	92歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛仁会 植村病院 ・ 外園整形外科 ・ ブライト歯科クリニック
---------	---------------------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して2年を経過して、よりよいグループホーム作りに全職員の努力が見られるホームである。特に、地域に開かれたホームになりたいと「地域交流室」を設け老人会などを事業所で開催してもらえるよう努力されている。ホーム職員は、利用者があるがままに生活でき、楽しく笑いの絶えない雰囲気作りに努力している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営理念の明示・啓発は改善されているが、その他の栄養管理・定期的検診の支援・継続的な研修の受講・市町村の関わりなどの改善点は、継続して取り組んでなく、記録に残ってない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が、それぞれ自己評価してまとめられた自己評価になっている。話し合った記録を残すことを望みます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	討議内容が事業所からの報告に終わっている。次回からは、外部評価の改善についての話し合い・意見交換などを含めた内容にされることを望みます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会がないため家族の意見・要望等は、個々の面会時・電話などで聞いている。意見・要望は、職員間で話し合い解決している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会・老人会に加入して、地域に溶け込もうと努力をしている。会合が行なわれる会場が急な階段があり、利用者の参加が困難で、会合に参加できない状態である。今後は、事業所内を会合の会場に使ってもらえるように話していく予定である。町内会の行事の情報を集め、積極的参加されることを期待します。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者本位の自立支援を中心にした理念をつくりあげ、実践している。地域密着型にふさわしい理念作りにも、取り組んでいる。		地域密着型サービスとしての、事業所独自の理念を作り上げることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングの時に理念を唱和して、言葉かけ態度等、実践につなげている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会・老人会に加入しているが、会場に急階段があるので、参加できない状態である。		町内会・老人会の行事の情報を集め、催し物に積極的に参加されることを望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価の改善点を継続して取り組んでなく、記録に残していない。今回の自己評価は、職員全員で取り組んでいる。		外部評価の改善を計画を立て、継続して取り組んでいかれることを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年の9月から2ヶ月に一回開催している。事業所からの状況報告・家族との意見交換をしている。		

鹿児島県 小野の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村への働きかけはしているが、連携に至っていない。		市町村・包括支援センターなどが、事業所の行事に参加してもらえるように、再々の働きかけを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	一ヶ月に一回ホーム便りを送付している。面会時や電話で個々に報告している。行事予定・行事報告は年4回便りを作り送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の要望は、個人記録簿に記録して職員で話し合い、要望にこたえられるよう努力している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入職者があるときは、2日間職員を増加して、入居者と十分話してもらい顔を覚えてもらうよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に行くことが少なく、事業所内のミーティングの時の勉強会にとどまっている。		研修の年間計画を立てて、外部研修・事業所内研修を全職員が交代で参加し、共有することを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	四事業所でネットワークを作り、情報交換・勉強会をおこないサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人・家族に見学してもらい、職員とゆっくり話しをしたり、食事をしてもらっている。自宅から通ったり、体験入所してもらったこともある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家庭菜園の作り方・着物の着付けなど、入居者から教えてもらい、得意分野を發揮してもらおう場面作りに努めている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の希望で、買い物・図書館に行っている。食事のメニューを入居者の希望で変更することもある。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ミーティングで、状態の変化の報告を行い、職員の意見を取り入れて介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは、介護保険の切り替え時に行っている。カンファレンスで話し合いをしているが、記録がない。</p>		<p>介護計画の見直しは、安定していても一ヶ月に一回の見直しが望ましいので、毎月のカンファレンスで話し合い、個々の記録に残していくこと期待します。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者が入院しているとき、頻りに面会に行き、早期退院に向けた支援を行っている。家族の要望で病院受診の送迎をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族が納得されてかかりつけ医を協力病院に変えている。緊急時に病院に連れて行く同意書を作っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の体制はできてないが、家族がどのように望まれるか医師と相談して決めている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の入職時に入居者の家族とのプライバシーに関する守秘義務の契約をしている。プライバシーに関する勉強はこれからである。		秘密保持の徹底・個人情報保護法の理解などの研修を行いプライバシー確保の徹底に努めるよう期待します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	寝坊する人は無理に起こさず、入浴はいつでもできるなど本人のペースで、できるだけ個性のある支援に心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは、できるだけ旬のものを使い入居者の希望を取り入れて決めている。入居者は、盛り付け・片付けなど職員と一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝のバイタルチェックの結果を診て声かけしている。希望すれば毎日の入浴も可能である。拒否される方には時間をおいて声かけしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味が読書の方は図書館へ行ったり、絵画の好きな方は絵を事業所内に飾っている。歌の好きな人のために歌詞カードを大きく書いている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間を通して戸外に縁台を置いて、涼んだり日向ぼっこしている。外出の機会がない人には、ドライブに誘っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出傾向がみられたときは、無理強いせず一緒に付いて行くようにして、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の実践的な訓練をしている。6月に地震想定訓練をしている。非常食の準備は、できてない。		職員が、自信をもって避難誘導出来るように避難訓練の回数を増やし、水害・台風の想定も実施して欲しい。また、非常食の準備をされることを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は職員が入居者の希望を取り入れながら決めている。水分は一日1000cc取れるようにチェックしている。刻み食が最初からミキサーにかけてある。</p>		<p>時々、献立のカロリーチェックをされ栄養バランスの把握に努めることを望みます。刻み食の方に味覚を感じて楽しい食事になるように工夫されることを期待します。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間に七夕飾りをつくり季節感が感じられる空間である。ほとんどの入居者が、静かな空間で居心地よく過ごしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>写真や使い慣れた品を配置して、それぞれ個性のある居室になっている。</p>		